

■勧めたい合併■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 527 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

527 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. 自己流道場より
3. ブログより：勧めたい合併
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

まずは先週の報告から。

5/13(火)は、LR ミーティングでメンバーTさんから提案があり、新たな土地購入に向けて動き出すことになりました。

5/15(木)にはエンジン修理が完了したスーパーカブの回収のため、初めて田園調布駅で下車しそこからバスに乗りました。

修理には 6.5 万円ほどかかってしまいましたが、50cc 原付バイクの製造中止を目前に控え、エンジンをリストアできたのは不幸中の幸いかもしれません。

自身の老体にふさわしい、おんぼろバイクを大切に乗り潰したいと思いました。

・

さて、今週のお誘いです。

本日 5/20(火)は、一宮庵 MTG の後、午後から「みたか多世代の家」の内覧会にお邪魔しますので、ご都合のつく方は、<https://tasedai.or.jp/> をご覧の上お越しください。

5/22(木)は 10 時から開催する「シネマ de 笑恵館」で、「PLAN 75」をリバイバル上映いたします。

本作は、このイベントの第 1 回目に上映したのですが、「一人で見るのはチョと怖い」という方々からの要望により再演することになりました。

そして、5/25(第 4 日曜)は、恒例の「名栗の森・見学説明会」を開催します。

<http://land-resource.org/naguri/guidance/>

道づくりに伴う資料整備も一段落したので、今回は今後の事業展開などについて、たき火をしながらのんびり語り合いたいと思います。

ということで、火・木・土は世田谷方面、水・金・月はふきの庭を基点に活動しますので、今週もどうぞよろ

しくお願いいたします。

.....

2. 自己流道場より（まつむら塾）

現在開催中の講座はございません（1 か月分）。

名称	日時・内容	受講料	開催場所
ガイダンス	受付中	無料	一宮庵（火曜）
実現学	受付中	3,300 円/回	笑恵館（木・土曜）
地主学	受付中	3,300 円/回	ふきの庭（日・月・水・金曜）
ビジネスDIY・複式簿記入門	受付中	3,300 円/回	随時：出張 or オンラインも可能

希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

下記書店にて販売中。

- ・ 文教堂書店：東川口店、赤羽店、溝の口本店、横須賀 MORE'S 店
- ・ 紀伊国屋書店：西部東戸塚 S.C.店

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：勧めたい合併

合併（がっぺい）とは、法定の手続に従って、複数の法人その他の事業体が一つの法人その他の事業体になること。

一般的な意味での「合併」は平等な条件や規模での結合を示し、両者に差が大きくある場合は合併とは呼ばずに、吸収や買収などと表現されるが、買収との違いは法人格の消滅を伴うことにある。

営利ビジネスにおいては、事業拡大や再構成などの手法とされてはいるが、あくまで存続のための消滅を伴う最終手段に違いない。

また、自治体などの統廃合に相当し、明治 22 年 7 万以上あった集落（自給自足単位）が、町村合併を繰り返すことで現在約 1700 まで減少し、さらに総務省は 1000 を目指している。

これまで起業という「始まり」の支援に取り組んできた僕にすれば、消滅を意味する合併はその逆の「終わり」を意味し、決して推奨することは無かった。

・

ところが先日、ある法人の代表から、こんな相談が舞い込んだ。

個人や団体の総務・経理にまつわる様々な雑用を請け負う便利屋稼業を営んできた彼が、福祉関係の人材派遣に取り組む法人の運営に携わるようになり、その経営を立て直し、高齢化した依頼者から代表者の役割も引き継いだ。

法人は不採算部門からの撤退や、内部体制の整備により、経営は安定したものの、成長や拡大を前提とする事業でなく、だからこそ門外漢の彼でも継承できた。

彼の眼から見れば、むしろ同様の悩みを抱えた類似法人が周囲に多数存在し、それらの存続支援の必要性を痛

切に感じているという。

そもそも彼が営む便利屋稼業とは、組織運営に必要な雑用係を雇用できない規模のビジネスを対象にする、雑用処理の集約業なのだから無理もない。

そこで頭をよぎったのが、先ほどの「合併」で、小規模事業の存続のために顧客を統合する合併を提案する便利屋が居ても面白いとひらめいた。

・

これまでの僕は、独立性が失われる合併をさげすみ、忌み嫌ってきた。

2つの組織が1つになるのは、1つが消えることを意味している。

でも、もしも2つの組織が2つのまま合併し、互いの不足を補いながら独立性が維持されるなら、僕には何の不満もない。

かつて倒産した自分の会社を再生した際も、複数の株式会社が合併せず、持ち株会社（ホールディングカンパニー）を新設するやり方で、経営の独立を守ったまま企業グループの所有のみを一元化した。

さらに今年、僕はこれを応用して複数の任意団体を一般社団法人の事業部門に吸収した。

笑恵館クラブと名栗の森オーナーシップクラブを一般社団法人日本土地資源協会の事業部門に位置付けると同時に、それぞれの代表者（所有者）を法人の社員に迎え、各事業部門の担当理事に就任していただいた。

こうすることで、2つの事業の会計処理と税務処理を一元管理できるとともに、相互の交流など相乗効果も期待できる。

さらには今年度より新プロジェクト「ふきの庭倶楽部」を立ち上げたが、わざわざ新規の規約や構成員を集めるまでもなく、担当理事（所有者）さえいれば事業は即座に立ち上がる。

かつて、法人税や労務負担を割り勘にする「シェア法人」という仕組みを考案し、個人事業者が集まる商店街や、専門業種のコミュニティに提案したことがあったが、これは個人事業者の独立性を阻害しない法人化という訳だ。

・

合併という概念は、たしかに部分的な消滅を伴うことで「存続という独立」に反するが、消滅する部分こそが独立に寄与するなら、むしろ歓迎したいと僕は思う。

つまり、「何を消滅させるか」こそが肝心であり、消滅を否定する必要はない。

例えば、複数のリーダーや部門・役職などの重複は、容赦なく整理統合して構わないが、まったく同様の業務を行う町村合併により地名が失われたり、農協の合併によって農産物の地域ブランドが消滅するのは許しがたい。

こうした、望まない消滅は何としても防ぎたい。

そのために、常に現状を「分割すべきことと統合すべきことが混在している状態」と認識してはどうだろう。

そして、分割すべきことを分割し、統合すべきことを統合する、それこそが独立を構築する方法に思えてきた。

・

話は飛ぶが、受精した1つの卵（卵細胞）を思い浮かべよう。

1つの卵は、DNAのレシピに従って2つ4つ8つと分解を繰り返し、万、億、兆と増えていく。

だが、それと同時に様々な目的を持つ臓器や器官を形成し、やがて全体として1羽のひよこに収斂する。

なぜ僕が独立にこだわるのかというと、全ての存在は常に1（いち）であり、個も全体も1だから。

だが、およそすべての存在1は、それだけでは存在できず、それらの全体に属している。

ここでおよそと言ったのは、それだけで存在できる究極の全体は想像もつかないと同時に、これ以上分割できない究極の小さな存在についても分からないから。

なので全ての存在は、「究極の個」が形成する「究極の全体」の中の「1部分」という1だろう。

一人の人間が伴侶を見つけて夫婦になるのは、結婚という合併で、片方の姓に統一することでまさに氏名の統

廃合が行われる。

すべての存在が、何かに属し何かから独立する「部分」である以上、この「統廃合問題」から逃れることはできないのかもしれない。

・

話を合併に戻そう。

はじめに述べたように、合併とは「法人その他の事業体」が 1 つになることを指し、人やひよこは「合併しない」。

だがそれは、人は同棲、結婚、合体など様々な形式で 1 つになるが、それらを決して「合併と呼ばない」という意味だ。

また、合併とは 2 つの水滴が 1 つにまとまるようなイメージだが、実際には組織の名称や事業の仕組みなど非物質的な統合統一を意味している。

そこで、僕が合併に対して抱く否定的なイメージを打破するには、これに代わる言葉が必要だが、それを既存の言葉から探す試みがこのブログだ（今回に限らず）。

個人事業者が法人化によって発生する事務を割り勘でシェアする「シェア法人」や、日本国内の土地を資源化したい人々のために設立した「日本土地資源協会」などがその例だ。

その流れで今回の提案を名付けるなら。世田谷区内で訪問支援に取り組む団体の運営事務を集約する「世田谷訪問支援ネットワーク」とでも名乗れば、賛同を得ることができるだろうか。

先日の相談に対し、今日はこんな答えを伝えたいとの思いに迫り着いた。

<https://nanoni.co.jp/250518-2/>

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

4. 今週の動向＋今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

（火）05/20 一宮庵作業日

運動×：09-10 時 スイミング（砧プール）

会議◎：11-13 時 一宮庵 MTG（成城）

訪問◎：14-15 時 みたか多世代の家内覧会（三鷹）

（水）05/21 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

会議×：19-21 時 八島花文化財団評議員会（京島）

（木）05/22 笑恵館作業日

運動×：09-10 時 スイミング（砧プール）

会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_4 木（笑恵館）

（金）05/23 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

（土）05/24 笑恵館作業日

作業◎：09-17 時 笑恵館受付業務_土（笑恵館）

交流×：18-20 時 住人食事会_4 土（笑恵館）

(日) 05/25 メゾンふき作業日

交流○：10-14 時 現地・見学説明会_4 日（名栗の森）

(月) 05/26 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

■今後の予定

05/27 訪問×：13-16 時 出張作業（松本）
05/28 訪問○：10-14 時 三浦土地現地調査（横須賀市長井）
05/28 会議◎：20-21 時 LR 定例 MTG_4 火（メゾンふき＋zoom）
05/29 会議×：10-12 時 HFA 定例会（恵比寿）
05/29 訪問×：13-14 時 青島裕之建築設計室（渋谷）
05/29 訪問×：15-16 時 エスナ市ヶ谷（渋谷）
05/31 作業◎：09-17 時 笑恵館受付業務_土（笑恵館）
06/02 会議×：19-29 時 （株）なのに定例会（稲城市長峰）
06/03 会議◎：11-13 時 一宮庵 MTG（成城）
06/04 交流○：11-16 時 庭いじり研究会（ふきの庭）
06/07 出席○：14-17 時 松本家結婚パーティ（ふきの庭）
06/10 会議◎：20-21 時 LR 定例 MTG_2 火（メゾンふき＋zoom）
06/12 会議◎：15-16 時 三宿 R420 商店会年次総会（三宿）
06/12 会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_2 木（笑恵館）
06/19 交流◎：13-18 時 なるほどデイ_3 木（笑恵館）
06/19 交流◎：18-20 時 持ち寄り食事会_3 木（笑恵館）
06/21 出席×：16-20 時 KK さん結婚式（表参道）
06/22 交流○：10-14 時 現地・見学説明会_4 日（名栗の森）
06/26 会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_4 木（笑恵館）
06/28 交流×：18-20 時 住人食事会_4 土（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

拠点

一宮庵（火）

〒157-0066 東京都世田谷区成城 6-22-7

<https://ikkuan.com/>

笑恵館（木土）

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

ふきの庭 PJT（上記以外&居住）

〒146-0094 東京都大田区東矢口 1-10-8

<http://fuki.land-resource.org/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

・・・・・・・・・・・・・・・・

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>